

TOHATSU

PARTNER

2018年4月1日発行 / 春号

VOL.104



Photo:セーリングワールドカップ(愛知県蒲郡市)

CONTENTS

- 永年会員表彰を受賞 P2
- 青年優秀技能者・技術者を表彰 P2
- 対馬農業協同組合新春展示会開催 P2
- MINIBOATFESTIVAL2017 P3
- フィッシングショー-OSAKA2018 P3
- ジャパンインターナショナルボートショー-2018 P4~5
- 有限会社おおげき新店舗オープン P6
- 第1回ヨーロッパ販売店会議 P6
- 大多喜町消防団へ小型動力ポンプ付積載車を納車 P6
- 人員搬送車納入 P6
- 堺市消防局地震体験車納入 P7
- 父島に日本損害保険協会様寄贈・小型動力ポンプ付き
軽消防自動車納入 P7
- 東京消防庁隊向けにVF63AS-Rを23台納入 P7
- 一般社団法人日本損害保険協会小型動力ポンプ付
軽消防自動車寄贈 裏表紙

永年会員表彰を受賞



東京商工会議所板橋支部（会長／吉村健正）の平成 30 年新年賀詞交歓会が、去る 1 月 29 日、来賓者多数出席のもと東京・池袋のホテルメトロポリタンで開催されました。

第一部（式典）の中で永年会員表彰が行われ、トーハツは 70 年会員表彰として、代表取締役社長 日向勇美が、東京商工会議所副会頭伊東孝紳氏より感謝状を授与されました。また、永年会員の受賞者を代表して日向が謝辞を述べました。70 年前の昭和 22 年から今日に至るまでのエピソードを披露し、多くの来賓の方々により盛大な拍手を頂戴致しました。

今後とも地域社会の発展と産業振興に向けて積極的に取り組んで参りますので、より一層のご支援とご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

（総務部／千葉）

青年優秀技能者・技術者を表彰

トーハツの長濱・本田の両名が晴れの受賞

永年会員表彰に引き続き第 11 回目を迎えた板橋青年優秀技能者・技術者表彰が行われ、トーハツから技術部の長濱晴久、駒ヶ根工場の本田裕史がめでたく受賞。板橋区の優秀技能者・技術者の栄誉に輝きました。

この表彰は、製造業に従事する優れた青年技能者や技術者を讃えることで、技能者・技術者としての誇りと意欲を高め、将来、板橋区の産業基盤を支える後継者として一層の技能・技術の向上を図ろうとするものです。この度表彰された両名は、船外機の開発、可搬消防ポンプの製造に携わっており、高品質の製品を供給すべく日々の研鑽に努めています。

閉会后、トーハツ代表取締役社長 日向や常務取締役 矢内らと記念撮影。喜びを噛みしめていました。

この度の受賞、誠におめでとうございます。

（総務部／千葉）



対馬農業協同組合 新春 展示会開催

去る平成 30 年 1 月 20 日、21 日に長崎県対馬市の対馬農業協同組合様にて毎年恒例となっている新春展示会が開催されました。

農業機械の他にも自動車や電化製品とバラエティーに富んだ商品が勢揃い。そのため多くのお客様が来場されました。

弊社は船外機を展示し、特に昨年発売された MFS9.9E は商品説明を聞いたお客様から次々と質問が飛び交いました。

寒い中での開催となりましたが多くの成果のある展示会となりました。

（西日本販売課／小畑）



★MINI BOAT FESTIVAL★ 2017

ミニボートの普及と安全意識の向上を目的としているミニボート安全委員会では、各地において MINI BOAT FESTIVAL を開催しています。

今回行われた館山海岸釣り大会は、一昨年秋に開催されたテストランでの感触をもとに実施された大会で、本年は、二週続けて上陸した大型台風の翌週の11月12日(日)に開催されました。

台風の影響で、会場となった館山造船のスロープが倒壊するなど、前日には主催者が協力して、会場のがれきの撤去などの整備を行い、翌日の開催にこぎつけました。

まだ暗い秋の早朝。参加者も徐々に集まりだしたものの、強風のため出航時間を遅らせ、ようやく穏やかになった風を確認し、一艇一艇ゆっくりとスタートフィッシングとなりました。

海上も穏やかではなく、広い開催エリアの中の魚影を追うのに手こずったようで、際立って釣果にあふれた大会ではありません



せんでしたが、参加された方々は、ストップフィッシング後の検量に笑顔で戻られていました。

昼食をはさみ、会場を渚の駅に変えて安全講習会が行われました。ミニボートの安全啓蒙のため、本大会にも参加されたミニボート愛好家 小野信昭氏や海上保安庁職員が講師となり、ご自身の経験や安全に対する考え方を参加者との対話形式で進められ、参加者の工夫や普段心掛けているボートの安全にみなさんが意識を共有していました。

その後に行われた表彰式は、大型の魚種こそありませんでしたが、協賛メーカーによる賞品の豪華さにおおいに盛り上がっていました。地元の地産品にライフジャケットなど持ちきれない様子の参加者は、すでに来年の開催を楽しみにされているようでした。

(マリン課/大坪)

フィッシングショー OSAKA2018

寒波到来、まるで日本中が冷凍庫の中に入っている感じの日々が続いており、外出することも少なく、早く暖かい春が来ないかと期待している人が大半です。

毎年この季節になると、釣り好きの人は寒くても関係なく、道具や機械の手入れに余念がありません。そして、新しい釣り道具見学に訪れるのが「フィッシングショー OSAKA2018」です。

場所も港に近い大阪市港区「インテックス OSAKA」の3・4・6 A/6 B の4会場、釣りに関するニーズに応える為のフィッシングアイテムを展示・一部即売していました。大阪のフィッシングショーは釣具の卸問屋が集まって共同開催しておりますので、お客様が毎年多く集まり、大いに賑わうこの季節の展示会です。

今回は弊社も2年ぶりに関西の小型ボート販売店「リトルボート販売」田原学社長とのコラボで新型インジェクションエンジン MFS15E/20E 及び2馬力船外機 MFS2B の展示を行いました。

今年、国内での弊社展示会では、新しいロゴマークが展示され、new TOHATSU マリンを日本中にアピールできるよう、努力と工夫を凝らしてお客様に喜んで頂きました。

弊社ホームページでも、新ロゴの写真や新型エンジンの動画が見られますが、現物を見られたお客様は軽量でキャブの無いエンジンに興味を持ち、寒い時期でも始動性が容易な事、加速性能や燃費などについての質問が飛び交いました。4月7・8日に行われるリトルボートでの試乗会をご案内しました。会場では大物釣り師のDVDを上映、みんな釘づけ状態連発となりました。

ブースを訪れた多くのお客様がリトルボート艇と弊社の新型船外機について興味を持たれておりました。生産を増加し在庫を揃えて皆様のご期待に応えられるよう、全社一丸となって取り組む気持ちで一杯です。これから各地の展示会でお披露目します。何卒、新型 MFS9.9E/15E/20E をこれからも宜しくお願ひ申し上げます。

一方リトルボート販売では、今回2年ぶりにカタログをリニューアルし、面白い企画にて木枠を組み、多くの小型ボートを並べられるスペース展示を確保。

特にフロートボートの展示に加え、先端にオプションで取り付けられるリトルボートオリジナルの「シャークヘッド」で、よりシャープで船らしく見える雰囲気を漂わせるアイテムに仕上り。獲物を狙う鮫の頭の如くスタイル抜群です。

このフロートボートは国内で数百隻以上販売しているようですが、シャークヘッドを付ければ水切りが良く、水しぶきも少なく、又スタイルが良く、より一層ボート感覚で乗れそうな気がしますね。

フロートボートお持ちの皆様は、ぜひシャークヘッドを取り付けて、船外機 MFS2B で航行しては如何ですか? とても楽しそうですね。

今回3日間でリトルボートと弊社のチラシ&カタログ等は2000部以上配布しており、毎年2万5千人以上の入場者のうち、約8%以上の方に見て頂いております。

(西日本販売課/中野)



ジャパン インターナショナル ボートショー2018



ジャパンインターナショナルボートショー 2018 が、3月8日（木）から 11日（日）の4日間にわたり、パシフィコ横浜と横浜ベイサイドマリーナを舞台に開催され、開期中には、5万人を超える方々が来場されました。

“海・心満たされる時間…”と題された本年は、メインステージで行われたタヒチアンダンス&フラダンスショーなど多彩なステージイベントが盛り上がった

ほか、海ゼミと題された各種の講座では、多彩な講師より海に関わる楽しみ方を紹介いただきました。

トーハツの新ブランド展開のスタートとなった今回のボートショー初日には、プレスカンファレンスが行われ、トーハツ製品の世界戦略の趣旨が説明されるとともに、トーハツのものづくりに対する姿勢や技術思想の紹介がありました。

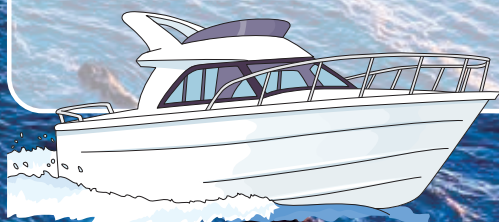
展示ブースには、新しいデザインの2馬力から150馬力までの船外機が展示されました。注目のニューモデル MFS9.9E/15E/20E は、特別ブースにカットモデル、参考出品のホワイトバージョンとともに展示され、注目の的となっていました。

クラス最軽量ということもあり、購入を検討されている来場者は、実際に重量を体感し、その扱いやすさに感心を寄せていらっしゃいました。実機に触れていただきながら、ユーザー目線の意見を伺えるボートショーは貴重な場所となっています。

また、ブース内ステージでは、釣りガールを交えた愉快的トークショーも行われました。シーバスフィッシングの実体験をもとに TFW-25R の操作性やボートレジャーならではの楽しみ方の数々を提案していました。

新生トーハツ元年となった今年のボートショーですが、各メーカーの新しい取り組みや未来のボートも紹介されていたほか、若い世代の顧客をマリレジャーへ誘う試みも積極的に行われていました。シーズンインとなった本年のボートレジャーに期待を持たせるイベントとなりました。

マリン課 大坪



有限会社おおぜき 新店舗オープン

三重県北部に位置する桑名市は木曾三川（木曾川、長良川、揖斐川）の下流域に位置し、栄養豊富な水で育った蛤は肉厚で濃厚な味わいから江戸時代は徳川家に献上されていました。

そんな好漁場に恵まれた環境でプレジャーボートや漁師のエンジンの販売を手掛けるトーハツサービスパイロット店である『(有)おおぜき』では、この2月に店舗を拡大すべく大きな敷地に移転し、新店舗をオープン。敷地は広く、レジャー艇、和船を展示・保管するスペースもありガレージも広く設備も充実。

お客様も満足する新店舗は今後も飛躍的に繁栄するでしょう。

新店舗オープンを心よりお喜び申し上げます。

(マリン中部/山中)



第1回ヨーロッパ販売店会議

平成30年2月6日から2月8日まで、初めてとなる欧州販売店会議が開催されました。フランス、チェコ、ポーランド、フィンランド、リトアニアの販売店5社が参加し、販売会議及び駒ヶ根工場見学が行われました。初日の会議では、防災事業及び販売施策の説明に加え、欧州向け新モデル V20FS、VE1500-Ti の説明を致しました。各販売店は今回が初顔合わせとなる為、各々の自己紹介、トーハツポンプビジネスの成功事例等を説明していただきました。また販売店同士の意見交換も行われ、非常に有意義な会議となりました。今回のヨーロッパ販売店会議を機に、欧州販売店と更なる協力体制を確立し、邁進して参りたいと思います。

販売店の皆様は、東京、長野を大いに満喫され、無事に帰路につかれました。

(防災海外課/小野澤)



大多喜町消防団へ 小型動力ポンプ付積載車を納車

納

人員搬送車納入

城下町の面影や江戸時代から変わらぬたたずまいを残す建物が点在し、「房総の小江戸」とも呼ばれる千葉県は大多喜町様へ、この度小型動力ポンプ付積載車を納車いたしました。

納車当日は澄み切った冬晴の下、大多喜町役場様での車両引き渡しと車両及びポンプの取扱説明が行われました。

荷台前部分には左右にシャッター付きの収納ボックスと、後部にポンプ積載用の電動油圧リフターを装備し、資機材は取扱い易いように後部両サイドに取付け。また夜間の活動を強力に後押しする、伸縮・旋回可能な1,000Wの大型投光器を備えています。

今回配備された車両が消防団の方々の日頃の活動の力となり、大多喜町様の安心、安全に繋がればと思います。

今回納入に際しご尽力いただきました、株式会社千葉トーハツ商會様に厚く御礼を申し上げます。

(防災中央/桑澤)



去る2月6日、重要無形民俗文化財に指定されているナマハゲが有名な、秋田県男鹿地区の消防本部に、人員搬送車を納車致しました。車両は三菱ローザのマイクロバスをベースに、無線機や赤色警告灯を備え緊急走行が可能な車両となっております。車両後部の観音扉を開けると約2畳の収納スペースを確保しています。また車体上部に資機材を積めるようにルーフラックを設置し、左右には強力なLED作業灯を取付けたので、夜間でも安心して作業することが可能です。そして車内にはプライバシーガラスやカーテンを設置し、座席もリクライニング式で、長距離への配慮をしております。

ご採用頂いた男鹿地区消防本部様、並びに販売にご尽力頂いた東北産業株式会社様に厚く御礼申し上げます。

(防災東北/田中)



納

堺市消防局 地震体験車納入



2月26日に大阪府堺市消防局へ地震体験車を納入致しました。

既存車両が古くなったための更新事業で、3トン車シャシに13KVAの発電機を搭載の仕様となっております。市民への防災意識をPRする為、ラッピングデザインや感震ブレーカー展示用のデモ機を付属する等、こだわりの仕様となっております。

納入時の検査では、既存車両に比べて体験室の揺れ方や操作性が良くなったと消防局担当者から高評価を頂きました。

検取後の取扱い説明では、興味を持った消防職員が地震体験の順番待ちとなり、待望の納車といった様子でした。

4月から運用開始し、市内各地で年間100日の稼働予定ということで、今後の活躍が期待されます。

納入に際しまして、ご尽力いただきました(株)マツイ防災様に厚く御礼申し上げます。
(防災関西/田村)



納



東京都小笠原村父島に 日本損害保険協会様寄贈・小型動力 ポンプ付き軽消防自動車納入

昨年12月19日、一般社団法人日本損害保険協会様寄贈の軽トラック消防車を小笠原村消防団へ納入させていただきました。常備消防が無い小笠原村において、今回の車両寄贈により消防力の増強が図られたことを役場職員の方、団員の皆様大変喜んでいらっしゃいました。車両に搭載されているVC72BSの取扱い説明に熱心に耳を傾けてくださり、以前よりご採用いただいているトーハツポンプも日頃から丁寧に、大切に扱ってくださっている団員の皆様のお姿に、いたく感銘を受けました。関係者の皆様、ありがとうございました。

(防災中央/菅)



納

東京消防庁隊向けに VF63AS-Rを23台納入

4ストローク自動中継機能付きポンプ「VF63AS-R」を東京消防庁様に納入させていただきました。駒ヶ根工場での中間検査を経て、2月に行われた完成検査にも無事合格。今回、隊向けでは初の4ストローク自動中継モデルの納入となり、車両積載用に専用設計した台車とともに23区内の消防署に配備されます。この度トーハツポンプをご採用いただきました東京消防庁様、並びに納入に際しご尽力いただきました東京物産(株)様には厚く御礼申し上げます。

(防災中央/菅)



一般社団法人日本損害保険協会 ★ 小型動力ポンプ付軽消防自動車寄贈 ★



去る2月1日(木)に日本損害保険協会から小型動力ポンプ付軽消防自動車が寄贈され、純朴で美しい、昔ながらの沖縄の原風景が残る竹富島に配備されました。

八重山列島にある島全島が沖縄県八重山郡竹富町に属し、竹富島は石垣島から高速船で約10分の沖合いに浮かぶ周囲約9kmの小島です。

軽消防自動車は損害保険協会より消防機器の寄贈を通じ社会貢献及び地域の消防強化のため全国の市町村・離島に寄贈され、離島向け7台・離島を除く市町村に10台の合計17台が寄贈されました。

式典では一般社団法人日本損害保険協会の鈴木常務理事、総務省消防庁の澤田消防・救急課長、竹富町西大舛町長の挨拶があり、消防団長より「損害保険号」と命名され、多くの方々が参加されました。

この度の納入にご協力頂きましたマチダテクノ(株)様に厚く御礼申し上げます。

(防災九州／荒田)

発行

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 3-5-4
TEL (03) 3966-3116 / FAX (03) 3966-0090

トーハツ株式会社
トーハツパートナー編集局
編集兼発行責任者 牧 邦治／青山 滋